

令和3年度第2回生涯学習審議会 提出された意見及び市の考え方

1.令和3年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

対象事業	委員	意見	市の考え方
施策21 学習機会の提供と学習環境づくり 「市民講座の実施」	後藤 孝文	市民企画講座は、文字通り市民による市民のための素晴らしい取り組みで、これからの講座の主流になるとよいと思います。経験や知識をもった市民は多いと思いますので、その方々に「やってみたら」と、後押しをいかにできるかがポイントだと思います。	公民館で活動しているサークルや市民講座受講生などに、様々な機会を捉え積極的に声をかけ、市民が持っている経験や知識を活かしてもらうよう取り組みます。また、講師スキルアップ講座の開催など、学んだ成果を活かしたい人などが、そのために必要な知識や技能を習得することを支援してまいります。
		生活様式が変わってきた中で受講者の年齢層を広げようとするならば、夜間、土日の開催にシフトするのは自然であり適切であると思います。	夜間や土日の講座も実施し、受講しやすい環境を整えます。
	水野 嗣則	市民企画講座、公民館主催講座・ワークショップとも、コロナ禍にもかかわらず受講者率（対定員）が約90%と高く、運営関係者の努力を多としたい。	緊急事態宣言の発令期間中にやむを得ず中止とした講座は、可能な限り延期などの対応をし、受講を継続できるよう取り組みました。
		若年層の講座への参加が依然少なく、学習ニーズの把握等によりさらに改善に努められたい。	世代ごとの関心事やニーズを捉え、企画に反映するよう努めます。また、夜間や土日の講座も実施し、受講しやすい環境を整えます。
	坂廻辺 範子	市民講座の年齢構成に偏りがありということについて、以前はもっと気になっていましたが、社会状況をみていたしかたないことなのかなと思うようになりました。充分配慮もされていると思います。今後の取り組みとして、親子向けの講座などは大変望ましいと感じました。また、文化財団の活動として今後も小中学校への出前授業はもっとすすめてほしいものです。	引き続き、幅広い世代に学習機会の提供ができるよう努めます。また、親子で参加できる講座やこども向けのジュニア講座なども引き続き実施し、幅広く学びの機会の充実に努めます。

施策22 学びの成果が活用できる仕組みの 充実 「生涯学習を推進する 人材育成講座の開催」	竹中 烈	市民講座の担い手を養成する機会があっても良いのではないかと	学んだ成果を活かしたい人などが、そのために必要な知識や技能を習得することを支援するため、人材育成講座を開催しています。
	水野 嗣則	令和2年度の点検・評価 施策21の課題で「オンラインを活用した講座の提供を検討する必要がある」とされており、また令和3年度の教育振興基本計画の中間見直しでも、新たな生活様式に基づいた生涯学習の具体策として「オンラインを活用した講座の実施」が追加されています。 一方で、今回の4ページの課題で「オンライン講座等、時代に即したオンラインツールやデジタル機器に対応できる人材が不足している」とされています。今後の取組にある「講座による人材育成」も含め、早急に体制の構築が必要と思います。	新型コロナウイルス感染症の影響下においてオンラインツールやデジタル機器への対応が急務となっておりますが、講師側・受講者側ともに、まだ経験も浅く、オンラインの活用・浸透は今後の重要な課題です。人材育成講座等でオンラインに対応できる講師の育成に努めながら、市の出前講座においても、スマートフォンの基本的な使い方などをメニューに取り入れ、デジタル機器の取り扱いが困難な方への支援を図ります。
施策24 生涯学習活動を支える 体制の整備 「生涯学習情報の発信」	竹中 烈	SNS発信は市民目線のフランクな文体・内容・それに伴う発信主のキャラクター設定（いわゆる"中の人"）があってもよい。	フェイスブックやブログ等SNSで情報発信をしているところですが、市民目線を意識し、より親しみやすさを感じられるよう工夫します。
	関 哲雄	こまき団体情報ガイドブックは、令和4年度リニューアルを行います。検索条件や、掲載内容を充実させ、利用しやすさの向上に努めます。	市民活動団体や生涯学習団体への支援として、こまき市民交流テラスと連携しながら、利便性の向上とともに、市民に親しみを抱いてもらえるような情報提供に取り組みます。
施策29 文化・芸術の鑑賞機会の充実 「身近で良質な鑑賞機会の 充実」	関 哲雄	こまきアートプロジェクト「点と点と線」運営ボランティアをワクティブこまきと連携し、多くの市民が参加したワークショップの作品を12月にフリースペースで展示を行い、大変好評でした。一般市民やボランティアが関わる素晴らしい企画でした。	今後も文化芸術を通して人との出会いやコミュニティーづくりに繋がっていくような機会の提供に努めます。

施策31 市民の創作活動への支援 「文化団体等の活動支援」	後藤 孝文	後援を市HPに掲載するという具体的な形で支援してもらえるのは有り難いことです。さらに、文化財団のHPにも掲載していただけると有り難いです。	引き続き、こまき市民文化財団と連携し、文化団体の活動を支援していく必要があると考えています。
		吹奏楽連盟に対し、コロナ禍による定員制限適用期間中も練習ができるよう、市民会館ホール舞台を利用可能にさせていただいたのは、たいへん有難かったです。	新型コロナウイルス感染症の影響下において、練習や発表の場に変化を苦慮されていることと存じます。引き続き、こまき市民文化財団と連携し、文化団体の活動を支援していく必要があると考えています。
		施策31は公演を対象としていますが、文化団体の活動は公演が目的ではなく、練習等の活動そのものが目的です。文化団体の活動には、活動場所、予算、指導者の三つが必要ですが、中でも活動場所に困っている文化団体が数多くあります。前述の市民会館ホール舞台が平時でも利用できるような柔軟な施設活用等、文化団体が伸び伸びと活動できる環境づくりに一層取り組んでいただきたいと思います。その意味で、文化団体の活動支援としての評価は、未だ十分ではないと思います。	文化・芸術施設の環境整備に加え、運用の面でも、文化団体の活動や多様なニーズに対応できるよう努めてまいります。
施策32 文化振興を支える体制の整備 「文化財団の活動支援」	後藤 孝文	いろいろなジャンルの著名な方を招いての公演は充実しており、様々な市民ニーズに沿ってきていると思います。	引き続き、多様化する価値観やニーズに応えられるよう、文化財団の活動を支援してまいります。

施策32 文化振興を支える体制の整備 「文化財団の活動支援」	後藤 孝文	財団の定款によりますと、6点が財団の事業として掲げられています。そのうち（2）「市民の文化活動を支援し、創作活動の推進を図る事業」については、毎年の事業報告に柱立てがされておられません。柱立てをしていただくと支援が明確になってよいと思います。 市民の文化活動は、自然に生まれ自然に活性化するものではありません。事業として掲げているのですから、柱立てをして支援を分かりやすくしていただき、文化団体を「育てる」という姿勢が見えるよう、文化財団の活動支援をしていただきたいと思います。 多くの「市民〇〇」と冠した公演は、市教委・財団との主催または共催ですが、唯一市民音楽祭だけは予算立てがありません。会場予約はしていただいておりますが、長年に渡り市教委・財団との共催を要望していますが未だ実現していません。主催する音楽連盟が共催を要望するのは単に予算を要望するだけでなく、舞台芸術のノウハウを持った財団職員の知識や経験をお借りして、共によりよい市民音楽祭を実現したい、その一点からです。 かすがい市民文化財団は、ホームページによりますと、事業として「活動支援」がきちんと柱立てされており、その内容は次の通りです。 〈ミッション5活動支援〉市民に活動や発表の場を提供し、自主的・自立的な芸術活動を後押しします。「職員の実践的な知識や技術を活用して、地域文化をけん引する市民の自主的な芸術活動をサポートします。事業で培ったノウハウをもとに、市民の視点に立った柔軟できめ細かいサービスを提供します。」 こういった他市の取り組みを参考にいただけると有難いと思います。 以上のことから、文化財団への活動支援としての評価は、未だ十分ではないと思います。	こまき市民文化財団は、そのミッションとして「文化をと おして地域につながりを創出します」を掲げ、「文化団体や市民の自主的な文化活動や学びを支えるパートナーとして相談・支援体制を整えるとともに、多種多様な文化団体・芸術家等のコーディネートをする」こととしており、市民や文化団体の活動を支えていくことは、重要なミッションの一つに位置付けています。 引き続き、市とこまき市民文化財団が連携し、市民や文化団体の活動を支援し、本市の文化振興につなげていく必要があると認識しております。
---	--------------	--	---

2.令和4年度教育委員基本方針重点施策について

施策21 施設予約システムの導入	坂廻辺 範子	市内の公共施設利用の新予約システムの導入について、随分前から望んでいたことでした。利用者の利便性向上に大きくつながると思います。	令和5年1月の稼働を目指し、新施設予約システムの構築を進めてまいります。
施策24 こまき市民交流テラス (ワクティブこまき)との連携	関 哲雄	令和4年度も引き続き、生涯学習団体の活動支援、地域活動へのコーディネート、情報発信のサポートに努めていきます。	こまき市民交流テラスとこまなびサロンが連携し、多角的に市民の地域活動、生涯学習活動を推進できるよう努めます。
施策29 身近で良質な鑑賞機会の充実	梶田 美香	こまぶんフェスタや演奏鑑賞事業、アウトリーチ事業等、充実した事業計画だと思います。コロナの様子を見つつ、実施できることを祈ります。	コロナ禍においても、文化芸術の灯をつなげていくため、新しい生活様式に沿った事業実施に努めます。
施策29 アウトリーチ事業の実施			
施策32 文化・芸術施設の環境整備	水野 嗣則	生涯学習の本拠である公民館施設の良好な環境維持は必須と思います。今回は市民会館の改修・更新工事ですが、他の公民館についても引き続き環境整備に努められたい。	各市民センター公民館につきましても、緊急性・必要性を検討し、引き続き環境整備に取り組んでまいります。
	後藤 孝文	市民会館・公民館の改修が行われるとのこと、より快適な空間になることを期待します。一方で、市民音楽団体が長年に渡り要望してきた音楽スタジオ等の防音設備を持った練習会場の増改築等については、この改修には含まれず、もはや願いは完全に潰えてしまう結果となり関係者は落胆しております。他の施設での改築・拡充や空き教室の一般開放等、市民音楽活動がのびのびとした空間でできるよう次善の策をお示しいただきたいと思います。	空いている時間帯に市民会館ホール舞台を活用するなど、運用等を工夫し、文化団体の練習場所の確保ができるよう、引き続き、検討を行います。

施策32 文化財団の活動支援	後藤 孝文	資料1からも、財団の事業の多くが委託事業ですので、そもそも活動支援という言葉が適切なかと思います。 財団なりによく努力されていると思いますが、財団が設立されて5年。「変わったね」「よくなったね」「変わらないね」等々、個人的な感想はいろいろとお聞きます。設立された当初の目的やビジョンが達成されているのかを、市民アンケート等で客観的に評価することが必要ではないかと思います。（実施済みなら結果をお知らせください。） 財団が将来的に自主財源比率を高めるなど、自立的な方向にシフトするならば「財団への活動支援」という言葉は理解できます。仮に現状のままとしても鍵となるのは人材育成であろうと思います。人材の良し悪しが小牧の文化活動に直結するからです。効率的・効果的な運営も大切ですが、長期的視野に立って、専門的な人材を育成する仕組みをつくるのが財団への重要な活動支援であると思います。	より質の高い事業を企画・運営し、また、市民の文化を支え続けていくためには、こまき市民文化財団の職員の育成及び資質向上は非常に重要なことです。市とこまき市民文化財団が本市の文化の将来像を共有し、人材育成に取り組んでいく必要があると考えています。
—	後藤 孝文	3年度に比較し、文化団体等の活動支援（施策31）が重点からはずされたことは大変残念に思います。この2年間のコロナ禍により文化団体の活動は大きく停滞し、とりわけ市民音楽団体は演奏活動が制限される中、退団者が相次ぐなど、組織の弱体化や存続の危機に直面する団体さえあります。コロナ対策の一環として、公民館等の料金の無料化、平時からの市民会館ホールの舞台利用など活動場所の拡充等、今こそ市民音楽活動への柔軟で思い切った支援が必要なときであると思います。施設改修の目処がなくなり、重点施策からはずされたままでは、小牧市の市民音楽活動は衰退の一途をたどると危惧します。	令和4年度の重点施策への記載はありませんが、文化団体等への活動支援が重要な施策の一つであることに変わりはありません。引き続き、市とこまき市民文化財団が連携し、文化団体等の活動を支援してまいります。

1.2共通

全体	鳥居 正幸	イベントは告知方法で集客が左右されます。については広告制作者としての考えをもとに、記入しました。 ・市民講座など開催日時、場所の選定…講座、イベントともに対象者が参加しやすい条件を満たすべきでしょう。例えば、勤労者、学生は平日昼間ではなく、週末夕方から夜間、シニア向けは平日の午前中など ・発表の場の提供…講座で学んだこと、作品の発表の場を提供して、モチベーションを上げます。その発表の場は、中央図書館1階ロビー、ドンキユニー桃花台ロビーなど不特定多数が訪れる、比較的新しい施設で行います。ラピオ5,6階は来るのは家族か知人です。(展覧会が同窓会化する。) ・チラシ、WEBサイトでの告知…その講座を学ぶ(体験する)ことによって得られるベネフィット(しあわせ感、満足)をキャッチフレーズにします。例えば、 「英会話サークルに来ませんか？」→「あのとき、あのフレーズが話せたら、あのひと…」 「トランプ手品入門」→「52枚のカードでスーパースター！」 とにかく、敷居を上げず気楽感を言葉で。 ・情報発信について…催事、講座、サークル募集などの情報を中央図書館1階ロビー、大型ショッピングセンターなど人が集まる様々な場所で発信します。ラピオの2階は特定の人しか来ません。 ・市役所のオフィスのような堅苦しさを感ずるラピオの2階を賑やかに楽しく。インテリア、POP(お知らせチラシなど)を工夫して賑やかに演出してはどうでしょうか。目指すイメージは小売店ヴィレッジバンガードの店内のように「たのしさをこもり」です。 ・小中高生が楽しむことを目指す…近い将来まちの主役になる彼らがじまんでできるまちづくりを意識します。	ご指摘いただきましたことは、いずれも集客という視点で、非常に参考になります。 効果的な告知の方法や場所等は、その講座やイベントのターゲットにより異なり、使い分けていく方法も検討していく必要があると考えます。
----	-------	--	---

全体	志村 優範	生涯学習活動が人生をより豊かにする趣味や活動の一環であると認識しているが、最近では地域の絆が希薄になりつつあるので、生涯学習活動がより地域に馴染むような施策をお願いします。	地域3あい事業では、生涯学習活動を通じた地域のつながりの構築を目指しています。しかしながら、新型コロナの影響で、事業の中止が相次ぎ、それぞれの活動の中で生まれてきた、つながりが薄れていくことが懸念されています。 地域での生涯学習活動が、より参加しやすい仕組みとなるよう柔軟な事業実施の方法を検討してまいります。
----	-------	--	--

3.その他

市民会館・市公民館施設 整備事業	坂廻辺 範子	新規事業として、市民会館整備についてとても楽しいことです。小牧市の新たな玄関・顔として市民に愛されるようこの事業に大いに期待します。	利用者が施設を安全・快適に利用していただけるよう改修に取り組んでまいります。
---------------------	--------	--	--